

リチウムイオン電池による火災が増えています



気がつかないうちに家庭の隅々に侵入している、リチウムイオン電池内臓の製品の数々。膨張するなどの異常が出てからでは、廃棄も大変です。容量の落ち込みを実感したら、替え時かも。異常が出る前に「危険・有害ゴミ」として、燃えないゴミの日に出しましょう（膨張した電池、自動車用バッテリー、オートバイ用バッテリー、電動自転車用バッテリー、ロボット掃除機等は、収集不可。販売店や専門業者に相談のこと）。使わなくなったら、速やかに廃棄することで、ご自宅の火災リスクを減らせます。